

(議題資料)

## 社会福祉法人 真隆会 令和2年度 事業計画案

事業区分	拠点区分	サービス区分	名 称	ページ
社会福祉事業	長浜老人福祉	地域密着型通所介護	恒富東デイサービスセンター	1・2
		居宅介護	介護保険サービスセンター	3
		地域包括支援センター	延岡市恒富東地域包括支援センター	4
	長浜障がい福祉	生活介護	障がい者生活介護サービスセンターながはま	5・6
	北川老人福祉	訪問介護	訪問介護事業所 さくら	7
	北川障がい福祉	生活介護	障がい者生活介護サービスセンターきずな	8・9
		指定特定相談支援事業	サポートセンターながはま	10
		居宅介護	訪問介護事業所 さくら	7
	平原障がい福祉	就労継続支援 B 型	就労継続支援 B 型事業所 ラ・ベルファミ延岡	11・12
公益事業	有料老人ホーム	有料老人ホーム えのたけ	有料老人ホーム えのたけ	13・14
	障がい者専用住宅	向陽の杜 のべおか	障がい者専用住宅 向陽の杜 のべおか	13・14

# 令和2年度 事業計画(案)

事業所名 恒富東デイサービスセンター

	重点目標 (理由、数値目標を含む)	目標達成の為の具体的な活動
1	利用契約者の増加と利用人数の安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き状況、見学・体験利用などの案内を各事業所へ定期的に配布し、実際に施設に足を運んでいただき利用に繋げ、新規獲得を目指す。</li> <li>・包括支援センターの予防教室等への同行や、周辺地域の民生委員さんたちとの繋がりを作り、施設の活動状況などPR活動を行う。また、オープンデイのような形での見学会の機会を作っていく。</li> <li>・必要、状況に応じて利用条件などの柔軟な対応を行い、可能な範囲でのニーズに応じ利用者様の増加、維持を図る。</li> <li>・欠席や行事参加など、状況に応じて振替利用等の声掛け、調整を行う。</li> </ul>
2	認知症ケア・サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居施設からの利用者様も増え、食に対して楽しみにしている方が増加している。利用者様のニーズに可能な限り応じられるよう、行事等の内容を検討していく。</li> <li>・認知症の利用者様の増加に伴い、集団活動の面でも課題が出てきている為、個々の能力や残存機能を考慮した余暇活動やレクリエーションの充実を図る。</li> <li>・認知症ケアに重点を置き、利用者様だけではなくご家族のサポートが出来るよう、情報共有や助言などを行い、連携を図る。</li> <li>・毎年実施しているアンケート調査を引き続き実施し、回答結果の公開、職員への周知を行い、改善が必要な場合には早急に対応を行う。</li> </ul>
3	地域との関わりと、緊急時の体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、実習生やボランティアの受け入れを積極的に行う。</li> <li>・方財保育園とのふれあい交流会を年間行事に組み込み、高齢者と地域の子供達が親しみを持って関われる機会を作る。</li> <li>・周辺地区の民生委員の方に定期的に「丸ヶ島便り」を配布や、運営推進会議への参加を依頼し、活動状況等を知っていただく。</li> <li>・緊急災害時にお互いに協力できるよう体制を整え、連携を図れる関係を作っていく。また、年間を通じて防災意識を持ち定期的に訓練を実施する。</li> </ul>
4	職員の資質向上と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者様、職員同士の尊厳を守り従事するよう、法令遵守に基づき業務遂行する。</li> <li>・毎月の勉強会のほか、各研修等へ参加し職員のスキルアップを図りプロとしての自覚を持って従事するよう意識付けを行う。</li> <li>・認知症ケアの研修等を積極的に行い、質の高い支援を目標とする。</li> <li>・接遇チェックシートを活用し、定期的に自己評価を行い接遇マナーの向上を図る。</li> <li>・認知症の方の増加に伴い、見守りもより必要になってきている。常日頃からの申し送り事項の周知を行う。</li> </ul>
5	リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリ・ハットに対する意識改革を行い、常日頃から気付きを持ち全職員から偏りなく報告が上げられるように指導を行う。</li> <li>・ヒヤリ・ハットや事故報告は、その都度報告を行い、原因、経過、対処法について話し合い、全職員で情報を共有し未然に事故などを防げるよう取り組む。</li> <li>・定期的に研修や訓練を行い、緊急時にどの職員でも対応が出来る体制を作る。</li> <li>・各部署との連携体制を整え、災害時に備えた訓練を定期的実施。また、地域との協力体制を確認、構築していく。</li> </ul>

## 令和2年度「恒富東デイサービスセンター」行事計画(案)

	行事	運営
4月	園芸	職員会議 勉強会(急変時の対応)
5月	買い物・ドライブ	職員会議 勉強会(レクリエーション)
6月	おやつ作り	職員会議 勉強会(食中毒)
7月	納涼会(そうめん、かき氷等提供)	職員会議 勉強会(脱水、熱中症) のべおかばんば総踊り参加
8月		職員会議・運営推進会議 勉強会(記録)
9月	敬老会	職員会議 勉強会(認知症ケア)
10月	運動会 買い物・ドライブ	職員会議 勉強会(救命救護講習) 防災訓練(火災対応)
11月	鮎実演食事会	職員会議 宮崎シェイクアウト(地震想定訓練) 勉強会(防災関連)
12月	クリスマス会	職員会議 勉強会(感染症対策)
1月	新春茶話会・初詣	職員会議 勉強会(認知症サポーター)
2月	おやつ作り	職員会議 勉強会(介護技術) 防災訓練(火災対応)
3月	お花見ドライブ 和菓子バイキング(新)	職員会議 勉強会(法令順守)

※年2回方財保育園との交流会を予定。実施に関しては調整中です。  
※毎月季節の創作活動を組み込みます。

## 令和2年度行事予算

(単位千円)

行事	予算
園芸	5
おやつ作り(2回/年)	6
買い物レク(2回/年)	0
夏祭り	5
敬老会	20
鮎食事会	15
クリスマス会	10
新春茶話会・初詣	0
花見ドライブ	0
和菓子バイキング	10
誕生日カード	4
創作費	20
計	95

# 令和2年度 事業計画(案)

事業所名

社会福祉法人真隆会 介護保険サービスセンター

取り組むべき課題

重点目標(理由、数値目標を含む)	目標達成の為の具体的な活動
1 安定した事業運営の維持	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 介護支援専門員1人当たりの標準担当件数である35件の維持に努める。</li><li>・ 管理者が介護支援専門員ごとの業務進捗状況を把握し、オーバーワークや体調不良にも配慮し運営していく。</li></ul>
2 介護支援専門員としての資質の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修会や勉強会に積極的に参加し、その機会を利用して知識の向上また、情報収集やネットワークづくりをおこなう。</li><li>・ 事例検討会や研修受講者等による伝達およびOJTをおこなう。</li></ul>
3 医療との連携強化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 普段から医療職と関わり、入退院に際しては積極的に連絡・調整、情報交換を実施し、在宅生活または施設へのスムーズな移行を支援していく。</li></ul>
4 書類整備の徹底	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画的に活動し、事前の準備と事後の記録を確実にこなう。</li><li>・ 毎月、職員相互に書類の点検をおこなう。</li><li>・ 5年間の書類の保存および期間終了分の破棄をおこなう。</li></ul>
5 苦情に対する迅速かつ適切な処理	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 初期段階での報告・連絡・相談をおこなう。</li><li>・ 「相談・内容記録表」に記載し、事例を全員で検討し再発防止に努める。</li><li>・ 地域包括支援センターや保険者にも報告・連絡・相談をおこなう。</li></ul>

# 令和2年度 事業計画（案）

事業所名 延岡市恒富東地域包括支援センター

## ○運営上の基本的な視点

- 1.【公益性の視点】－「公益的な機関」として、公正で中立性の高い事業運営を行います。
- 2.【地域性の視点】－担当地域の特性や実情を踏まえた適切かつ柔軟な事業運営を行います。
- 3.【協働性の視点】－職員相互が情報を共有し、業務全体を「チーム」として支えます。

重点目標	目標達成のための具体的な活動
多様化する相談への体制の充実、地域との連携強化を図る	<b>【総合相談支援業務】</b> ①【実態把握】－隠れた問題やニーズを発見し早期対応出来るよう取り組む。 ②【総合相談業務】－多様な相談に対応出来るよう職員研修の充実・窓口体制の整備、関係機関との情報交換や連携を行い、適切な相談対応ができる体制を作る。 ③【地域ネットワーク構築業務】－地域の社会資源やニーズの把握、関係機関との関わりから連携強化を行い、適切な支援を実施する。ネットワーク構築も引き続き行う。
高齢者虐待への対応、成年後見制度の活用促進を図る	<b>【権利擁護業務】</b> ①【基本姿勢】－複数問題を抱えた高齢者が、自らの権利を理解し、行使できるよう専門性に基づいた支援を行う。 ②【虐待防止】延岡市高齢福祉課や民生委員等の関係機関と連携を図り、高齢者虐待防止の普及啓発活動を行う。 ③【成年後見制度】認知症などにより判断能力の低下がみられる場合には、適切な介護サービスに加え金銭的管理、法律的行為等の支援のため成年後見制度の活用を図る。 ④【消費者被害防止】消費者被害情報の把握を行い被害を未然に防ぐよう支援を行う。
他職種協働による地域包括ネットワークの整備	<b>【包括的・継続的ケアマネジメント業務】</b> ①【包括的・継続的なケアマネジメント体制の構築】 地域の介護支援専門員、関係機関との連携及び社会資源の活用。 ②【介護支援専門員に対する支援】 ア. 日常的個別指導・相談。 イ. 事例検討会・研修会の開催。 ウ. 支援困難事例等への指導・助言。
適正なサービス利用により地域で安心して生活を継続できるようにする	<b>【介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務】</b> ・対象者が介護予防に資する保健医療サービス又は福祉サービスの適正な利用により現在の状態の維持・改善が図れるよう自立支援に向けた介護予防サービス計画を作成し、一定期間経過後は目標の達成状況を評価し必要に応じて計画を見直す。
地域で暮らす高齢者への支援体制の充実、強化を図る	<b>【一般介護予防事業業務】</b> ・転倒リスクや閉じこもり傾向等の何らかの支援を要する者の把握。 ・百歳体操紹介、測定の実施(実施出来ない地域への推進)。 ・出前講座の開催(各地域年1回以上を目標に実施)。 ・関係機関・協力員への呼びかけ、参加者の意欲を高める企画立案を行う。
人材育成に努める	<b>【実習生受入れ業務】</b> ・医師会看護師専門学校、聖心ウルスラ高等学校看護科、九州保健福祉大学実習生の受入れを行い、医療・福祉の人材育成に協力する。

# 令和2年度 事業計画(案)

事業所名 障がい者生活介護サービスセンター ながはま

## 理念

「明るく、楽しく、安全に」

個々の尊厳を大切に、「今日も楽しかった、来てよかった」と思ってもらえる様に支援します。

重点目標 (理由、数値目標を含む)	目標達成の為の具体的な活動
1 利用者の増加 及び新規利用 者の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関及び障害支援施設等への訪問活動を実施し、3～4名の新規利用者獲得を目指す。</li> <li>・振替利用や追加利用を積極的に打診し、1ヶ月の利用者平均を少なくとも12人以上に保てるよう努力する。</li> <li>・ご家族からの要望等に出来るだけ応える等、柔軟な対応を実施する事で信頼関係を築き、利用増加へ結びつける。</li> <li>・年間行事(野外レク、クリスマス会等)の充実化を図る事で、利用者の増加・獲得を目指す。</li> </ul>
2 自立支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の残存機能を活かしながら、日常生活面の支援を行なう。</li> <li>・身体機能維持の為、個々の心身状態に応じた訓練の実施。</li> <li>・社会に対し、様々な関心や興味を持って頂けるような機会を設ける。 (買い物支援の実施、時季に応じてドライブ実施)</li> </ul>
3 情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳活用など、十分なコミュニケーションを通して利用者や家族との情報を共有し、信頼関係を構築していく。</li> <li>・職員間では、朝礼・終礼での申し送りや伝達ノートの活用によって情報を共有し、また必要に応じてミーティングを開催する事で、日々の安全な業務を遂行する。</li> <li>・他事業所と情報を共有することで、利用者のニーズに沿った計画が実行できる。</li> </ul>
4 リスクマネジメント とコンプライア ンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各災害に備え、様々な事態を想定して年2回の防災・避難訓練を実施。</li> <li>・ヒヤリハット、事故、苦情等の実態を把握・調査し、再発防止に努める。</li> <li>・感染症対策、利用者の緊急時対策等、各種対応マニュアルの整備。</li> <li>・利用者やご家族の人権擁護と、プライバシー保護の徹底に努める。</li> </ul>
5 介護技術・ 知識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修等に積極的に参加し、施設内にて勉強会を実施する事で、職員のスキルアップを目指す。</li> <li>・働きやすい職場作り、また人材確保・教育にも努める。</li> </ul>

## 令和2年度 行事予定計画

事業所名 障がい者生活介護サービスセンターながはま

	行事	予算	創作活動	勉強会
4月	花見ドライブ 茶話会	5千 (茶話会)	母の日創作	接遇・マナー
5月	野外レク	2万	父の日創作	食中毒関連
6月	買い物レク 誕生会	5千 (誕生会)	七夕創作	認知症について
7月	ドライブ 七夕行事 家族会	1万 (七夕行事)	夏関連創作	防災関係
8月	買い物レク			記録の書き方
9月	ドライブ 誕生会	5千 (誕生会)	お月見創作	障がい者コミュニケーション
10月	運動会	5千	ハロウィン創作	感染症関連
11月	野外レク	2万	クリスマス創作	救急講習・AEDの使い方
12月	クリスマス会 (誕生会)	2万 (クリスマス会)	正月創作 (絵馬)	苦情処理研修
1月	初詣		節分創作	障がい者虐待防止
2月	ドライブ クッキング	5千 (クッキング)	ひな祭り創作	法令順守
3月	誕生会	5千 (誕生会)	桜創作	介護技術
		10万		※状況により内容変更有

# 令和2年度 事業計画（案）

事業所名 訪問介護事業所 さくら

重点目標(理由、数値目標を含む)	目標達成の為の具体的な活動
<p>1 運営管理</p>	<p>①新規利用者の獲得(随時) 「えのたけ」「向陽の杜」の入居者の方が対象のため、連携しながら入居率が下がらないように、利用者の獲得、安定に努める。</p> <p>②利用者のニーズとヘルパーの調整を行い、訪問実績に繋がる様に努め安定を図る。</p>
<p>2 サービスの質の向上</p>	<p>①利用者個々のニーズに合ったサービスの提供。 ・本人、ご家族のニーズ、状態の変化などの情報を他機関と連携を取りながら本人に合った必要なサービスの提供に努める。</p> <p>②個別ケアの統一化を図る。 ・どのヘルパーが対応しても、利用者が戸惑わない様に同じ介助、支援方法などをヘルパー、職員間で連携を取り、情報の共有化を図る。</p> <p>③訪問介護計画に沿って決められた支援、介護を実施する。 ・訪問担当者表やボード、指示書などを活用し支援内容、時間、変更時などの連携が出来るように職場の環境を整える。</p> <p>④他機関との連携により健康保持、異常時の早期発見に努める。 ・事故や異常時には速やかに他機関と連携をして対応をし、再発防止に努める。</p>
<p>3 訪問介護計画の向上</p>	<p>①課題等を分析・評価することで解決し、介護サイドの立場も考慮し支援する。 ・月1回の勉強会、モニタリングで検討する。</p> <p>②介護計画書を随時見直し、適切なサービス提供を実施。</p> <p>③利用者、家族の声を聴き、他職種との連携を図り、問題解決改善に努める。</p> <p>④訪問介護常勤換算人数が待機なしで2.5人以上になるように訪問計画を立てる。</p>
<p>4 人材育成</p>	<p>①ヘルパーの育成 ・勉強会、外部研修の参加を増やしスキルアップを図る。 ・今年度も介護福祉士実務者研修2名参加し資格取得に努める。</p> <p>②新人職員の育成 ・同行訪問にてヘルパーの基礎知識や支援の習得を図る。</p> <p>③職員からの相談に応じる担当者の配置を行ない、精神面の軽減に努める。 ・管理者、提供責任者を配置し、個別に指導する。</p>



# 令和2年度 事業計画(案)

事業所名 障がい者生活介護サービスセンター きずな

重点目標(理由、数値目標を含む)	目標達成の為の具体的な活動
<p>1 運営管理</p>	<p>①新規利用者の獲得(随時) 「向陽の杜」入居者が利用対象者である為、「向陽の杜」の入居率が下がらないよう連携しながら、利用者の獲得に努める</p> <p>②利用者数確保 毎月の予算案(数値等)を目標に、事業所の稼働率安定を図る</p>
<p>2 リスクマネジメント及び コンプライアンスの 徹底</p>	<p>①安全の確保 安全会議の開催、ヒヤリハット報告の分析、薬剤管理の充実</p> <p>②緊急事態への対処方法の確立 ・緊急対応(感染症対策等)マニュアルの作成と活用 ・防災訓練の実施(年2回)</p> <p>③個人情報保護の徹底 プライバシー保護意識の徹底、重要書類等の管理</p>
<p>3 情報の共有化</p>	<p>①ミーティングの開催 必要に応じて会議を実施する</p> <p>②「向陽の杜」との連携 伝達ノート等を活用し、利用者の情報開示及び動向を伝達する</p>
<p>4 サービスの質及び 職員の知識の向上</p>	<p>①安心・安全なサービスの提供 ・利用者のニーズに沿った、個別支援計画の作成 ・一人ひとりの想いを尊重し、ご家族と情報を交換しながら利用者の心身状況を適正に把握した支援を行う ・事故等が発生した場合は速やかに対応し再発防止に努める</p> <p>②健康状態の観察 利用中は快適な生活が送られるように健康管理(バイタルサインの確認)を行ない、利用者一人ひとりの状況を常に把握し、事故防止・感染防止に努める</p> <p>③職員の育成 ・施設内、外での研修実施により、職員のスキルアップを目指す</p>
<p>5 自立支援</p>	<p>①機能訓練の実施 ・日常生活において、自分で出来る事はしてもらい、出来ない部分を支援する ・利用者個別の計画作成を行い、家族・本人の希望を確認して支援計画に反映する</p> <p>②社会適応訓練の実施 利用者が社会の様々なものに興味と関心を持ち、積極的に行動する機会を設ける</p>

# 令和2年度 行事計画(案) 障がい者生活介護サービスセンターきずな

	年間行事	備考	創作活動	予算	職員研修
4月	花見ドライブ 園芸	植物園 花植え	塗り絵	10,000 10,000	職員勉強会
5月	クッキング (プリンアラモード)		塗り絵	5,000	職員勉強会
6月	七夕飾りつけ		七夕飾り作り 塗り絵		職員勉強会
7月	七夕行事	素麺流し	塗り絵	5,000	職員勉強会
8月	夏祭り(えのたけ 向陽合同)		塗り絵		
9月	山ドライブ	はゆま 道の駅	塗り絵	20,000	職員勉強会
10月	山ドライブ	はゆま 道の駅	塗り絵		職員勉強会
11月	鮎食(えのたけ 向陽合同) 避難訓練		塗り絵		職員勉強会
12月	クリスマス会(え のたけ向陽合同) コールカメラア 慰問		キーホルダー作 り 塗り絵	3,000	職員勉強会
1月	書初め		塗り絵		職員勉強会
2月	節分行事	豆まき	塗り絵	2,000	職員勉強会
3月	総合避難訓練(合 同)		塗り絵		職員勉強会
			予算合計	55,000	

令和2年度 事業計画(案)

事業所名 サポートセンター ながはま

	重点目標(理由、数値目標を含む)	目標達成の為の具体的な活動
1	個々の利用者に合った事務処理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新規利用者のサービス等利用計画の作成を行う。</li> <li>②市の障がい福祉課や病院のワーカー等と連携を図り新規利用者の情報収集に努め、新規の利用計画に繋げる。</li> <li>③計画作成後のモニタリングの中身を把握し、変更等の検討を行う。</li> <li>④市への提出書類の作成を正確に実施する。特に実施日や会議実施日の日付等の相違がないように注意する。</li> <li>⑤当該利用者の情報入力を正確に行う。</li> <li>⑥請求管理を確実に進行。(国保連請求処理)</li> </ul>
2	より質の高い計画相談支援を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ケアマネジメント手法を活用し、障がい者ニーズや置かれている状況を勘案して、福祉、保健、医療、教育、就労、住宅等の総合的な視点から地域での自立した生活を支える。</li> <li>②障がい者の生活実態、ニーズや置かれている状況をアセスメントして障がい者本人の望む生活への意志を尊重して作成する。</li> <li>③市町村の支給決定前に、障がい者のニーズ等を把握して計画案を総合的視点から捉えて作成する。</li> <li>④計画作成前のアセスメントを重視し、適切な相談支援を実施する。</li> <li>⑤利用者がどのような生活を目指すか中立・公平な視点で、相談支援専門員としての総合的判断のもと支援計画を立てる。</li> </ul>
3	情報の共有化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報提供や助言、事業所等との連絡調整等を総合的に実施する。</li> <li>②職員及び事業所等のミーティングを定期的実施する。(担当者会議の実施)</li> <li>③利用者及びその家族との交流を図り、連絡を密にする。 (利用者を家族と一緒に支援していく。)</li> <li>④利用者又は、その家族等から知りえた情報の共有化と守秘義務を徹底する。</li> <li>⑤計画の点検作業は一方方向ではなく双方向で行い、相談支援専門員と担当者が共に確認しあう姿勢で臨み、課題を共有する。</li> <li>⑥本人や家族を支えていけるようにサービス提供事業所や市の障がい福祉課等と連携を図り、チームで支えていく。</li> </ul>

令和2年度 事業計画(案)

事業所名 就労継続支援B型 ラ・ベルファム延岡

理念 個々の尊厳を大切にし、精神的・肉体的能力を高め、社会において自分らしく自立した生活を目指す。

重点目標 (理由、数値目標を含む)		目標達成の為の具体的な活動
1	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の事業所に雇用されることが困難な、働く意欲ある障がい者に対して就労機会を提供すると共に生産活動、販売等を実施する。</li> <li>・又障がい者が共に働きやすい職場づくりを目指し、かつ働く意欲を高め収益につながるよう支援する。</li> </ul>
2	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くらこん</li> <li>・虎彦</li> <li>・レストラン</li> <li>・市役所販売</li> <li>・施設販売</li> <li>・レストラン販売</li> </ul> <p>                     昆布の選定                      破れ饅頭、ポン煎、花衣                      施設配達(おやつ・ケーキ類)予約の配達                      ケーキ類・から揚げ・おにぎり・飲み物 他                      お菓子類・予約注文                      食事の内・外部の提供・ケーキ類の販売                      誕生ケーキの予約販売                      レストランの貸切予約                 </p>
3	納品先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設</li> <li>・市役所</li> <li>・外部への販売</li> </ul>
4	営業エリア 利用者増加 作業の拡張	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延岡・門川・日向</li> <li>・開所日を週6日にする。</li> <li>・1日平均を8~9人を目標とし、安定を図る</li> <li>・利用者が、出来る作業を増やし、働きやすい環境と賃金向上に努める。</li> </ul>
5	健康管理 衛生面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の健康状態(観察、自己管理)の徹底</li> <li>・作業において安全面強化 相談員との情報交換</li> <li>・毎月一回大掃除を実施</li> <li>・手洗い消毒の徹底 使用エプロンの洗濯・除菌</li> </ul>

令和2年度 就労継続支援B型 ラ・ベルファム延岡 行事計画案

	年間行事	備考	予算	職員研修
4月	・花見(行楽)・市役所販売	愛宕山		勉強会
5月	・市役所販売			勉強会
6月	・市役所販売			勉強会
7月	・七夕祭り・市役所販売	・ソーメン流し	・5.000	勉強会
8月	・夏祭り(レストラン使用)	(18時~21時)	・30.000	勉強会
9月	・市役所販売			勉強会
10月	・秋行楽・市役所販売	・道の駅蒲江	・10.000	勉強会
11月	・市役所販売			勉強会
12月	・クリスマス・忘年会	・バイキング	・10.000	勉強会
1月	・正月・茶話会	・食事会	・10.000	勉強会
2月	・節分・市役所販売	予約販売		勉強会
3月	・桃の節句・市役所販売	予約販売		勉強会

# 令和2年度 事業計画(案)

事業所名 有料老人ホーム えのたけ 障がい者専用住宅 向陽の杜のべおか

重点目標(理由、数値目標を含む)	目標達成の為の具体的な活動
1 運営管理及び生活支援サービス	①利用者様の個人情報尊重とプライバシーの徹底。 ②利用者様の尊厳を尊重及び、個人の意向や希望に沿った支援の実施。 ③利用者の家族、親類、友人のコミュニケーションの場となるよう支援する。 ④その方らしい生活の場の提供と、生きがいを引き出せるよう支援する。 ⑤他機関との連携を図りながら、利用者に負担無く、満床維持に努める。 ⑥イベントも取り入れた家庭的で明るい雰囲気を作り、社会行事に合わせた催し物利用者を楽しんでもらう。
2 健康管理及び緊急時の対応	①看護職員による日々の健康管理の実施。 ②協力医と連携し、利用者様の健康保持・異常時の早期対応に努める。 ③利用者様に体調変化がある時は、ご家族に連絡し必要に応じ受診の実施予定。
3 感染症対策	①研修、施設内各委員会発足、強化を図り、専門性の向上に努める。 ②随時マニュアルを改変、作成し活用する。
4 食事の提供	①食事・おやつは栄養管理され、適温にて提供する。 ②補助具の活用や食事形態の工夫をし、自己摂取を促す支援の実施。 ③嗜好に考慮し、時節の行事に応じた食事提供の実施。 ④咀嚼・嚥下状態を把握し、安全に楽しく食事ができる環境整備の実施。
5 生活相談・助言	①日頃から利用者様やご家族が、気軽に相談しやすい関係の構築。 ②相談には親身に対応する。 ③利用者様の生活上の変化等、必要時はご家族に連絡・相談する。 ④苦情相談窓口を設け、誠意を持って迅速な解決に努める。
6 安全対策	①指定の電気管理技術者による、年2回の点検・整備の実施。 ②利用者様の安全確保に迅速な対応ができるよう、年2回の防火、防災訓練の実施。 ③状況に合わせたセキュリティ強化の実施。

令和2年度 有料老人ホーム「えのたけ」  
障がい者専用住宅「向陽の杜のべおか」  
行事計画表(案)

	社会行事	施設内行事	備考	予算		職員研修
4月	大師祭 みどりの日	誕生会 花見ドライブ	散髪	誕生会 (慰問者用送迎代、 または御茶菓子代)	3,000	勉強会
5月	憲法記念日 こどもの日		散髪			勉強会
6月	入梅	誕生会	散髪	誕生会 (慰問者用送迎代、 または御茶菓子代)	3,000	勉強会
7月	七夕祭り	七夕行事 (ソーメン流し)	七夕飾り付け 散髪	ソーメン流し経費	3,000	勉強会
				誕生会	3,000	
8月	お盆	夕涼み会 (夏祭り)	散髪	夏祭り経費	70,000	勉強会
9月	敬老の日 秋分の日	敬老会 防災訓練	敬老会 プレゼント及び イベント食	プレゼント経費 ¥700×26名	16,000	勉強会
10月	体育の日 十五夜	屋外食事会 誕生会	鮎やな 散髪	鮎やな屋食代(職員) ¥500×35名	18,000	勉強会
				誕生会	3,000	
11月	文化の日 勤労感謝の日	避難訓練	散髪	誕生会 (慰問者用送迎代、 または御茶菓子代)	3,000	勉強会
12月	クリスマス 天皇誕生日	クリスマス会	年越しソバ 散髪	鏡餅 門松	40,000	勉強会
1月	元旦 成人の日	鏡開き	正月膳 七草粥 鏡開き (ぜんざい)			勉強会
2月	節分 建国記念日	節分 (豆まき) 家族懇談会 誕生会	恵方巻き 散髪	豆まき経費	2,000	勉強会
				誕生会	3,000	
3月	ひな祭り 春分の日	お雛様 防災訓練	雛壇飾り付け ひな膳 花見膳			勉強会
				予算合計	167,000	